

平成 28 年日本熱物性学会第 2 回 (2016-2) 役員会議事録

日時：平成 28 年 4 月 16 日(土) 役員会 14：00～15：01

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者：(五十音順・敬称略)

浅岡龍徳(信州大学)	遠藤亮(東レリサーチセンター)
大久保英敏(玉川大学)	小川光恵(ファインセラミックスセンター)
小田究(名古屋工業研究所)	小畑良洋(鳥取大学)
小原拓(東北大学)	仮屋圭史(佐賀大学)
桑原正史(産総研)	小宮敦樹(東北大学)
杉岡健一(富山県立大学)	杉山久仁子(横浜国立大学)
鈴木賢紀(大阪大学)	高田保之(九州大学)
田中勝之(日本大学)	長坂雄次(慶應義塾大学)
春木直人(岡山大学)	日野裕久(パナソニック)
麓耕二(弘前大学)	堀部明彦(岡山大学)
牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)	宮崎康次(九州工業大学)
桃木悟(長崎大学)	山田修史(産総研)
山田純(芝浦工業大学)	山田雅彦(北海道大学) 26 名

審議事項：

高田会長より挨拶があり，配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1) 前回議事録確認……………資料番号:16-2-1-役

小宮評議員より，資料 16-2-1-役，に基づき前回議事録の確認があり，一部修正の上，了承された。

(2) 第 37 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:16-2-2

堀部第 37 回シンポジウム担当より，第 37 回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。日程の確認，会場の説明，予算案について説明があった。助成金については，現在八雲環境科学財団に申請中との報告があった。参加費は昨年度を維持し懇親会費のみを 1,000 円値上げして収支予算案をたてた旨の報告があった。また，5 月号掲載予定の第 2 回会告案についての説明があった。9 ページ掲載の協賛については仙台地区の組織については削除することとした。シンポジウム参加費の振込用紙は学会誌 8 月号に差し込み予定。会告案の写真については，開催時期に合わせて冬のものから秋のものに変えることとした。その他，実行委員会組織，OS 等についての詳細説明があった。

(3) 第 38 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号:16-2-3

山田熱物性情報担当より，第 38 回シンポジウムの準備状況について報告があった。日程が確定し，2017 年 11 月 7 日（火）～9 日（木）で行い，会場はつくば研究センター共用講堂を予約済である旨の報告が

あった。

(4)ATPC2016 準備状況……………資料番号:16-2-4

長坂国際連絡事務担当より、資料番号 16-2-4 に基づいて、ATPC2016 の準備状況報告があった。発表件数は現時点で 383 件であり、セッション内訳状況、口頭/ポスター内訳、国別内訳の報告があった。4 月 23 日(土)に第 4 回実行委員会が開催される旨の報告があった。また、研究成果公開促進費が採択され、交付金が振り込まれることとなった。査証についても柔軟に対応している旨の報告があった。

(5)各種委員会報告……………資料番号:16-2-5-1~4

編集委員会

大久保編集担当より、資料 16-2-5-1 に基づいて、2016 年 5 月号 (Vo. 30, No. 2 (2016)) の目次案について報告があった。巻頭言については杉山副会長に依頼し、論文は 4 編、報告は 2 件、案内も 2 件掲載予定とのこと。また、熱物性データベース講座が今回で終了するとのこと、次の企画を検討しており、長坂国際連絡事務担当より「ATPC の歴史」について連載(著者:長島昭先生)を検討していくこととなった旨の報告があり、これを了承した。

表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料 16-2-5-2 に基づいて、2016 年度学会賞の候補募集についての説明があった。昨年度同様、学会賞候補を募集する旨が報告された。応募締切は 2016 年 7 月 29 日(金)で、是非自薦他薦問わず積極的な応募をお願いしたい。日本学術振興会から「日本学術振興会賞」の推薦依頼があり、1 名の推薦をする旨の報告があった。また、日本学術振興会の「育志賞」の受賞があった旨の連絡があった。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当より、データベースの整備等の活動報告があった。引き続きデータベースの提供を行っているので、何かあった場合および要望等を連絡いただきたい。

広報委員会

宮崎広報担当より、資料 16-2-5-3 に基づいて、活動報告があった。HP の整備、メーリングリストの運用についての活動報告がなされた。フロントページコラムについては早めに動いているとのこと。また、講習会開催については、別添資料 16-2-5-3 広報委員会報告 に基づき、宮崎広報担当が東京地区で Phonon に関する講習会を行っていくとの説明があり、開催について了承した。開催日程については 7 月 25 日もしくは 9 月 16 日に行うこととした。

活動委員会

桃木企画担当より、資料 16-2-5-4 に基づいて、活動報告があった。広報委員会より説明のあった講習会については協力体制をとっているとの報告があった。また、熱物性シンポジウムでの BPA 賞に関する活動の進捗状況報告があった。併せて、ATPC2016 における学生 BPA の実施について、現状報告があった。

(6)研究分科会報告……………資料番号:16-2-6

高温融体物性と材料プロセス

小原事務局担当副会長より、資料 16-2-6(1)に基づいて、代理で活動計画について報告があった。

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

高田会長より、資料 16-2-6(2)に基づいて、代理で活動計画について報告があった。

断熱材の熱物性計測と評価研究文科会

小宮評議員より、資料 16-2-6(3)に基づいて、代理で活動計画について報告があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎広報担当より、代理で活動計画が報告された。

(7)事務局報告……………資料番号:16-2-7-1~3

小原事務局担当副会長より、資料 16-2-7-1~3 に基づいて、共催・協賛関係、会員異動、預り金報告について報告がなされた。また、今野事務職員が退職することとなった旨の報告があった。

(8)その他

山田東京連絡事務担当より、第 37 回日本熱物性シンポジウムにて会場に飲食物持ち込み禁止について質問があった。

以上